

課題名：薬剤耐性髄膜炎菌の発生・伝播機構に関する分子疫学的研究

公表年月日：2018年10月

公表の方法：公益財団法人 大同生命厚生事業団ウェブページに掲載予定
(<http://www.daido-life-welfare.or.jp/index.htm>)

公表の題名：助成実績（10．薬剤耐性髄膜炎菌の発生・伝播に関する分子疫学的研究）

公表内容の概要（400字以内）：

大阪府で分離された髄膜炎菌を用いた先行研究により、2015年以降、アンピシリン(ABPC)中等度耐性株およびレボフロキサシン(LVFX)耐性株が急増していることが明らかとなった。そこで、薬剤耐性髄膜炎菌の発生・伝播機構の解明を目的として、ABPC中等度耐性もしくはLVFX耐性を示した株を中心に計33株をMLST解析に供試した結果、日本から報告されたST型であるST-11026株がABPC中等度耐性およびLVFX耐性を獲得し、2015年以降に増加している傾向が認められた。また、その他にもST-53など海外からの流入が疑われる株が含まれていた。さらにLVFX耐性株3株のニューキノロン系薬剤耐性関連遺伝子解析を実施し、これら3株のGyrAに耐性に関わる変異が認められた。本研究において、日本に定着した薬剤耐性株が拡散、変異するとともに、海外から流入し、拡散している可能性が示された。